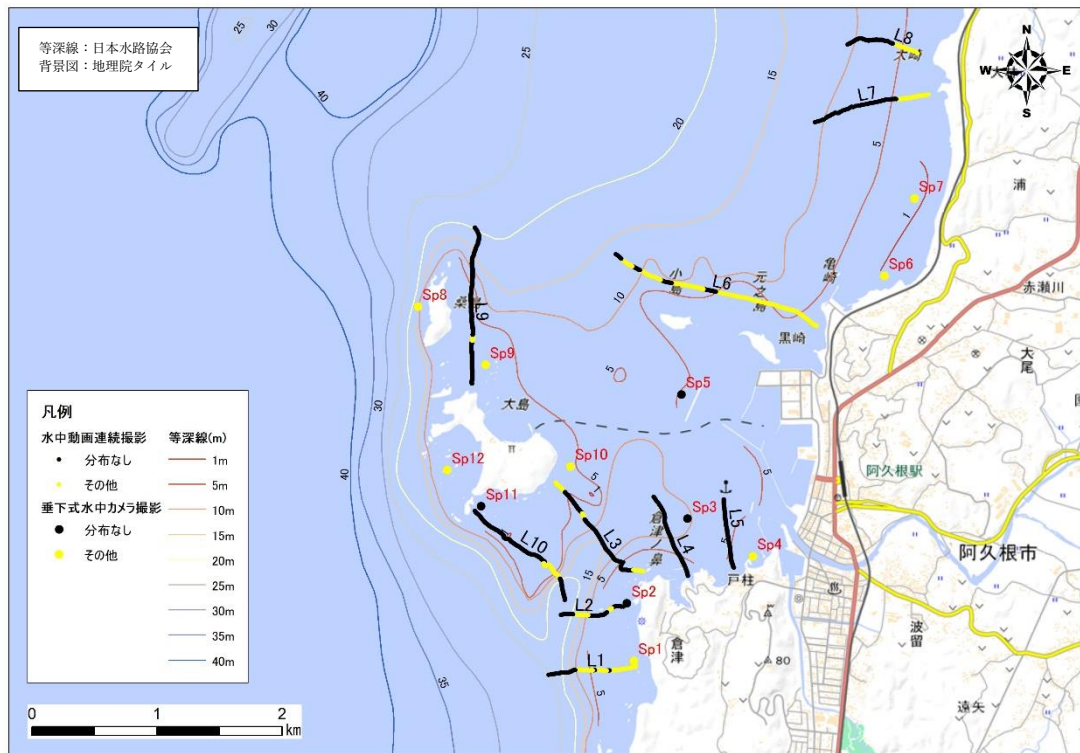


【垂下式水中カメラ撮影】				【 UAV 撮影（オーバーラップ撮影範囲）】					
スポット 番号	緯度		経度		撮影範囲	緯度		経度	
1	-	-	-	-	A	-	-	-	-
2	-	-	-	-	B	-	-	-	-
3	-	-	-	-	C	-	-	-	-
4	-	-	-	-	D	-	-	-	-
5	-	-	-	-					
6	-	-	-	-					
7	-	-	-	-					
8	-	-	-	-					
9	-	-	-	-					
10	-	-	-	-					
11	-	-	-	-					
12	-	-	-	-					
(5) 調査年月日				令和2年11月25日、11月26日（UAV撮影：11月24日）					
(6) 調査実施者				株式会社パスコ 雑賀修一（調査責任者）					
(7) 調査海域の概要									
本海域は八代海入口の阿久根市沿岸に位置している。第7回自然環境保全基礎調査では、阿久根大島からその周辺にかけて広大なガラモ場が形成されており、種の多様性も高いとされるが、これら藻場の消失は著しいとされている。 本海域を含む天草・八代海南部は、生物多様性の観点から重要度の高い海域（沿岸域）に指定されている。 現地調査は、阿久根大島及びその周辺の藻場を対象に実施した。 阿久根市沿岸海域での高度100mの年間平均風速は6.0～7.0m/sとなっている（NeoWins（洋上風況マップ）：NEDO）。									

(8) 調査結果 ①水中動画連続撮影

【確認結果平面図】



測線 1：阿久根港南側の調査測線、水深 D.L-2.5～26.4m、底質は岩盤、巨礫、礫、砂が混在し、多様であった。水深 D.L-19m 以浅において、礫上等に石灰藻類等の小型藻類が確認された。

測線 2：阿久根港南側の調査測線、水深 D.L-3.6～20.7m、底質は岩盤、巨礫、礫、砂が混在し、多様であった。礫上等の一部に小型藻類が確認され、サンゴも散見された。

測線 3：阿久根港南側から阿久根大島にかけての調査測線、水深 D.L-4.2～20.9m、底質は岩盤、巨礫、礫、砂が混在し、多様であった。部分的に小型藻類が確認され、サンゴも散見された。

測線 4：阿久根港南側の調査測線、水深 D.L-5.5～13.1m、底質は主に砂であった。小型藻類を含めアマモ類、大型褐藻類の分布は確認されなかった。

測線 5：阿久根港南側の調査測線、水深 D.L-3.1～8.9m、底質は主に砂であるが、一部礫が混在していた。小型藻類を含めアマモ類、大型褐藻類の分布は確認されなかった。

測線 6 : 阿久根港北側の調査測線、水深 D. L-5. 2～-14. 2m、底質は主に礫、砂であった。
礫上等の多くに小型藻類が確認された。

測線 7 : 阿久根港北側の調査測線、水深 D. L-2. 5～-12. 2m、底質は主に砂であるが、岸よりの水深 D. L-6m 程度まで礫が混在していた。礫上等に小型藻類が確認された。

測線 8 : 阿久根港北側の調査測線、水深 D. L-3. 0～-11. 9m、底質は主に砂であるが、岸よりの水深 D. L-9m 程度まで礫等が混在していた。礫上等に小型藻類が確認された。

測線 9 : 阿久根大島北側の調査測線、水深 D. L-5. 3～-22. 3m、底質は主に礫、砂であった。
礫上の一部に小型藻類が確認された他、サンゴが散見された。

測線 10 : 阿久根大島南側の調査測線、水深 D. L-4. 0～-25. 9m、底質は岩盤、巨礫、礫、砂が混在し、多様であった。礫上等の一部に小型藻類が確認された。



サンゴと小型藻類（測線 3）



小型藻類（測線 6）

(8) 調査結果 ②垂下式水中カメラ撮影

【垂下式水中カメラ撮影 調査結果一覧】

地点 番号	水深 (D. Lm)	底質	主要な藻類 (種名・被度)	備考
Sp1	-1.7	岩塊・巨礫、礫	石灰藻類10%	サゴゝ確認
Sp2	-1.4	岩塊・巨礫、礫	-	サゴゝ確認
Sp3	-10.2	砂・泥	-	
Sp4	-1.8	岩盤、岩塊・巨礫	石灰藻類10%	
Sp5	-5.4	砂・泥	-	
Sp6	-1.5	岩塊・巨礫、礫、砂・泥	-	
Sp7	-1.5	岩塊・巨礫、礫	小型藻類 (サゴゝモ、フクロリ他) 30%	
Sp8	-8.8	岩盤、岩塊・巨礫	石灰藻類+	
Sp9	-5.0	礫、砂・泥	石灰藻類+	
Sp10	-3.4	礫、砂・泥	石灰藻類+	
Sp11	-2.4	岩塊・巨礫、礫	-	サゴゝ確認
Sp12	-3.8	岩盤、礫、砂・泥	石灰藻類+	サゴゝ確認



石灰藻類 (地点 1)

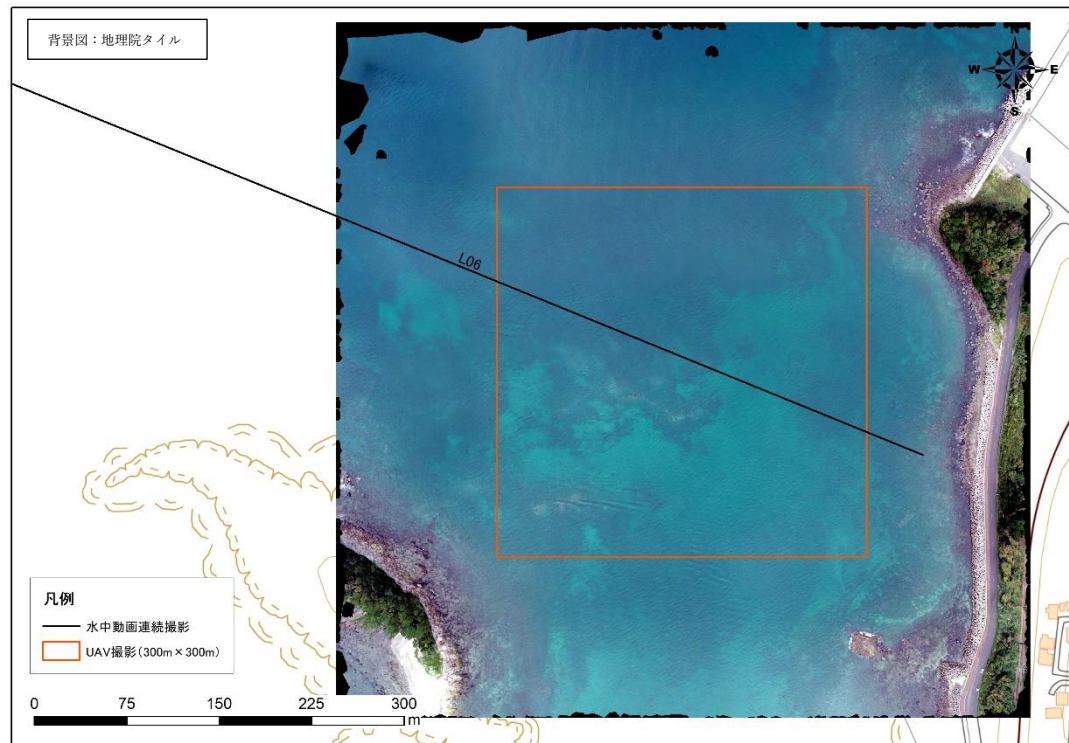


小型藻類 (サゴゝモ・フクロリ) (地点 7)

(8) 調査結果 ③UAV 撮影

【UAV 撮影結果 簡易オルソ画像】

簡易オルソ画像からは、撮影範囲 (300×300m) 内の底質の状況は確認できるが、藻場の分布に関しては明確ではない。

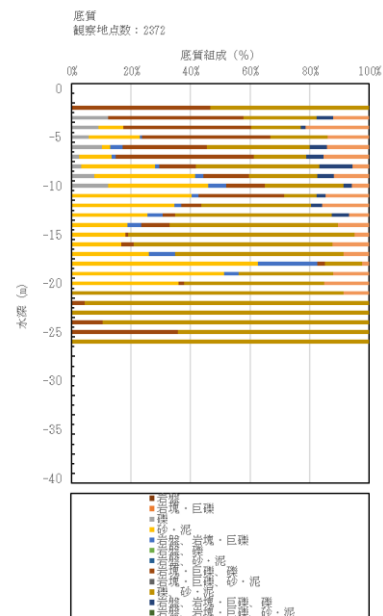
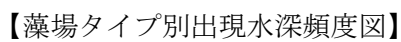


撮影時間	潮位※ ¹	風向・風速※ ²	波高※ ³	撮影高度	備 考
2020/11/24 14:00～15:00	D. L 1.90m	北北西 1.9m/s	0.5m 以下	149m	

※¹ 潮位は、気象庁阿久根検潮所における 14 時時点の潮位表基準面上の値

※² 風向・風速は、気象庁阿久根観測所における 14 時時点の値

【藻場分布調査結果図】



(10) まとめ

調査海域は、鹿児島県阿久根市、阿久根港の南側から沖の大島にかけての岩礁域が主体の海域である。

現地調査では、各測線ではフクロノリや小型紅藻などの小型藻類の分布はみられたが、測線、地点ともにアマモ類、大型褐藻類の分布は確認されなかった。

調査海域南側の測線 2、測線 3 ではサンゴの分布もみられた。

(11) その他特記事項

※ 潮位補正は、気象庁推算潮位の阿久根（AKUNE）を用いた。